

専情委表彰制度アンケート結果

回答数 29

- ・ 継続すべきである 24
- ・ 廃止してもよい 1
- ・ その他 4

- コメント -

【■継続すべきである】

継続を強く希望します。表彰制度は大変素晴らしいもので発表会の発展に大きく寄与しているものと思われま。御存じだとはおもいますが、この表彰制度が大きなモチベーションとなり、数多くの御報告があるのではないのでしょうか？

ただでさえ忙しい高専の先生方の中でもさらに忙しい情報処理の先生方がコンスタントに投稿されるのは、この表彰制度あつてのことと思われま。私はこの研究発表会はもっと多くの発表があつてもよいと考えているので継続を強く希望します。

【■継続すべきである】

多くの発表をなされている教職員の方々、実践例や事例などの発表を通じて、最新あるいは実際の有益な情報を提供頂いている方々であり、発表会にそれだけの貢献をされているという証拠に思いま。少なくとも私は、この発表会で様々な情報を得、情報交換させて頂いており、たいへん有り難く感じております。そのような感謝の意味も込めて、表彰はあつてもよいと思いま。毎回の表彰者の確認は事務局にとってたいへんなお手数かと思いま。委員会でも出ましたが発表される方々の励みになる場合もありますので、「できれば”継続すべきである”」との回答にさせて頂きます。

【■継続すべきである】

廃止すべき特段の理由もないので、継続で良いのでは。

【■その他】

回数という評価基準にどうしてもというこだわりが私自身にはないので、廃止してもよいのかもしれない、と考えていま。ただ、これを励みにしている方が多数存在して、その取り組み奨励の効果は大きいと判断される材料があるのであれば、継続に反対するものではありません。また、第2(3)については、今回見直しの直接的契機となった発表会関係に限定されるものではないと思いま。該当する事例があれば今後も表彰すればよいのではないかと考えていま。ただ、周辺事情でこの項目だけ残すのが大変という事情があれば、廃止に反対するものではありません。)

【■継続すべきである】

今回の説明では廃止する理由が不明です。なぜ30回を超えるとやめることを検討しないといけないのか？高専フォーラムと一緒になるとやめることを検討しないといけないのか？高専教職員の目標になるのであれば、続けるべきではないのでしょうか？

【■その他】

学会において直接発表した者は、回数を10回等にして欲しい。

【■継続すべきである】

継続したことで発生する問題は、特にないと思います。学校の表彰は廃止しても構いませんが、個人・団体の表彰については継続が望ましいと考えます。また新たに、セッション毎の優秀発表を決めるなども考えられると思います。

【■継続すべきである】

制定当初の目的を達したのであれば、廃止してもよいと思いますが、廃止したことにより、目的を達せなくなる状況に陥る可能性があるれば、継続すべきと考えております。勉強不足で申し訳ありませんが、当初の目的を知らず、お送りいただいたメールからも廃止すべき理由を理解できませんでしたので、「継続すべき」と回答いたします。

【■その他】

表彰制度に関しては、人によりいろいろ考えがあるかと思えます。確たる考えがあるわけではないのですが、毎年表彰をするのはどうかなと思っています。マンネリ化？

【■その他】

専情委表彰制度につきましては、過去のいきさつ等に関し勉強不足のため回答しませんでした。あえて意見を述べるとすると、投稿回数による表彰は努力を多とする意味で残す理由はあると思いますが、2回以上開催地となったという理由で開催校を表彰するのは、フォーラムでの他の表彰と比べると何となく違和感を感じた次第です。確かに開催校となると何かとご苦労が多いこととは思いますが、表彰ではなくせいぜい感謝状程度ではないでしょうか。ただ、感謝状にしても他の研究集会等の開催の場合と比較すると過剰感があるかもしれません。